

耐圧防爆指示計 TD-3500
通信 I/F 取扱説明書

V2.61-SIO 2006-064-2

この取扱説明書は、プログラムバージョン 2.60 以降について記載してあります。

はじめに



据付工事、配管、配線 及び 点検・修理は、「工場電気設備防爆指針（独立行政法人 産業安全研究所）」及び関連法規に従って実施して下さい。



本機の分解、改造は絶対に行わないで下さい。防爆性能の低下による爆発や発火等の事故、また指示計故障の原因となります。

この取扱説明書は、耐圧防爆指示計 TD-3500 の通信 I/F について記載してあります。

この取扱説明書は、プログラムバージョン 2.60 以降について記載してあります。これ以前のバージョンの製品については、それぞれの取扱説明書を参照して下さい。なお、バージョンの確認方法は、TD-3500 取扱説明書の「ファンクションの設定」を参照して下さい。

また、双方向転送モードでのコマンドについては、別紙「通信コマンド・リファレンス」を参照して下さい。

なお、この取扱説明書は、TD-3500(基本仕様) をもとに記述してあります。

この取扱説明書では、ファンクションを以下のように記載しています。

[2.00]
└─ ファンクションNo.
└─ 内部定数の種別

お願い

- ❖ 本書の内容の一部または全部を、弊社に無断で転載することを禁止します。
- ❖ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ❖ 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入された販売店または弊社まで、ご連絡ください。
- ❖ 本書の運用を理由とする損失、逸失利益等につきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

1章 仕様	3
1. 共通仕様	3
2. OP-08 (RS-232C)	3
3. OP-90 (RS-422/485 + RS-232C)	3
4. OP-92 (RTC + RS-422/485)	3
5. OP-93 (RS-422/485 + RS-422)	3
6. プリンタへの印字	4
7. 専用外部表示器の接続	4
7. 時計機能について	4
2章 重量値転送フォーマット	5
1. 標準フォーマット	5
2. A対応フォーマット	5
3. U対応フォーマット	6
4. GTNフォーマット (AD-8118A)	7
5. GTNフォーマット (汎用プリンタ)	7
6. CSVフォーマット	8
7. CAS対応フォーマット	8
3章 信号線の接続	9
1. 信号線の接続	9
2. OP-08端子台 (RS-232C)	9
3. OP-90端子台 (RS-422/485+RS-232C)	10
4. OP-92端子台 (RTC+RS-422/485)	10
5. OP-93端子台 (RS-422/485+RS-422)	11
4章 ファンクションの設定	12
1. ファンクション設定モードへの移行	12
2. 設定方法	12
3. 設定値の保護	12
4. ファンクション設定モードの終了	12
5. ファンクション(通信関係定数)一覧表	13
6. 内部データの印字	16
5章 拡張機能	17
1. CODE番号	17
2. 回数印字について	17
3. RTCの設定	18

双方向モードでのコマンドについては、別紙「通信コマンド・リファレンス」を参照して下さい。

1章 仕 様

通信 I/F を使用することにより、ホスト・コンピュータとのデータ通信や、プリンタへの印刷等を行うことができます。

注 意

1. ファンクション [2.00] 又は [2.20] が【1】(使用可)になっていないと、通信 I/F は使用できません。

1. 共通仕様

同期方式	: 調歩式
伝送速度	: 300、600、1200、2400、4800、9600、19200 bps から選択
スタートビット	: 1bit
データ長	: 7bit 又は 8bit
ストップビット	: 1bit 又は 2bit
パリティ	: なし 又は 偶数/奇数パリティ
ターミネータ	: <cr> <lf> 又は <lf>

2. OP-08

通信方式	: RS-232C
使用ポート	: Ch-1
信号線	: RxD、TxD、RTS、CTS、SG、FG

3. OP-90

通信方式	: RS-422/485 及び RS-232C
使用ポート	: Ch-1(RS-422/485) 及び Ch-2 (RS-232C)
信号線	: TxD+, TxD-, RxD+, RxD-, FG (RS-422/RS-485) 及び RxD、CTS、SG、FG (RS-232C)

注 意

1. RS-232C は Ch-2 を使用し、出力のみとなります。
2. 「アナログ出力」が「使用可」になっていると、Ch-2 は使用できません。

4. OP-92

通信方式	: RS-422/485
使用ポート	: Ch-1
信号線	: TxD+, TxD-, RxD+, RxD-, FG
RTC (時計)	: 年月日時分秒

5. OP-93

通信方式	: RS-422/485
使用ポート	: Ch-1 及び Ch-2
信号線	: TxD+, TxD-, RxD+, RxD-, FG


注 意

1. Ch-2 は RS-422 仕様で、出力のみとなります。
2. 「アナログ出力」が「使用可」になっていると、Ch-2 は使用できません。

6. プリンタへの印字

プリンタを接続し、「4章 ファンクションの設定」で、ファンクションを

- [2. 05] 又は [2. 25] 重量値フォーマット : 使用するプリンタに合わせて下さい。
- [2. 07] (Ch-1のみ) ターミネータ : 【0】 単方向
- [2. 08] 又は [2. 28] 転送タイミング : 【4】 印字指令 1回 又は、
【5】 制御完了/印字指令併用
- [2. 30] 出力先 : プリンタを接続したChに設定して下さい。

に設定すると、指示計本体の  キーを押すことにより、印字させることができます。

 ・外部入力を使用可能な場合、「印字/送信指示」入力でも印字できます。

7. 専用外部表示器の接続

専用の耐圧防爆外部表示器を接続することができます。

なお、詳細は、別紙「耐圧防爆外部表示器 TD-3500D 取扱説明書」を参照して下さい。

8. 時計機能について

OP-92 (RTC+RS-422/485 I/F) では、RTC による時計機能 (年月日時分秒) が使用できます。RTC を使用するためには、「4章 ファンクションの設定」で、ファンクション[2. 40] を【1】に設定して下さい。

- 注意**
1. 時計機能を使用している場合、電源 ON 時に、が表示される場合があります。「5章 3.」を参照して、RTC の設定を行って下さい。

2章 重量値転送フォーマット

以下のフォーマットをファンクションで選択できます。

1. 標準フォーマット

'W' [57]	<stts1> (注1)	<stts2> (注2)	',' [2C]	<極性> (注3)	重量データ (小数点を含む 7バイト)	ターミネータ (注4)	[]内は16進データ
-------------	-----------------	-----------------	-------------	--------------	------------------------	----------------	-------------

注1: 総重量出力時 'G' [47] , 正味重量出力時 'N' [4E]


注2: 安定時 '1' [31] , 不安定時 '0' [30]

注3: 正の場合 '+' [2B] , 負の場合 '-' [2D]

注4: ファンクションにより設定

注5: 重量データは、ASCIIコード

注意 1. 重量異常時には、重量データはすべて '-' (マイナス)[2Dh]になります。

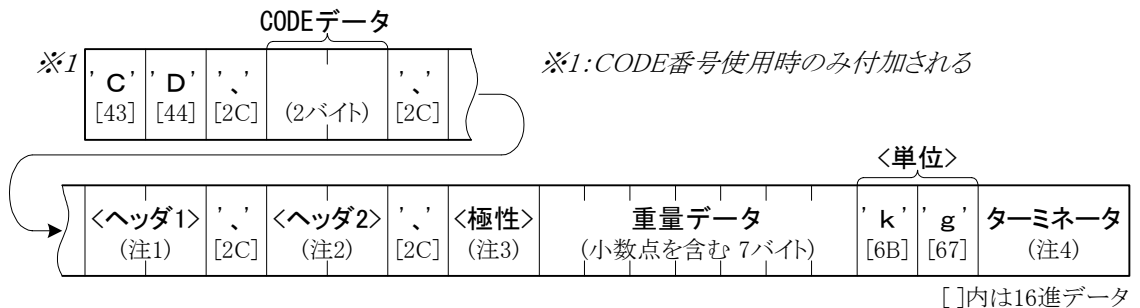
 ・ファンクションを以下のように設定して下さい。

[2.05] 又は [2.25] 重量値フォーマット : **【0】** 標準

・その他のファンクションは接続する機器にあわせて設定して下さい。

2. A対応フォーマット

A&D社製のプリンタや外部表示器を接続する場合に選択します。




注1: 安定時 'ST' [53,54] 、不安定時 'US' [55,53] 、オーバー時 'OL' [4F,4C]

注2: 総重量出力時 'GS' [47,53] 、正味重量出力時 'NT' [4E,54]

注3: 正の場合 '+' [2B] , 負の場合 '-' [2D]

注4: ファンクションにより設定

注5: 重量 及び CODEデータは、ASCIIコード

 ・ファンクションを以下のように設定して下さい。

[2.01] 又は [2.21] 伝送速度 : **【1】** 600bps 又は **【2】** 1200bps
(プリンタ側の設定と同じにして下さい)

[2.02] 又は [2.22] データ長 : **【0】** 8bit

[2.03] 又は [2.23] ストップビット : **【0】** 1bit

[2.04] 又は [2.24] パリティ : **【0】** なし

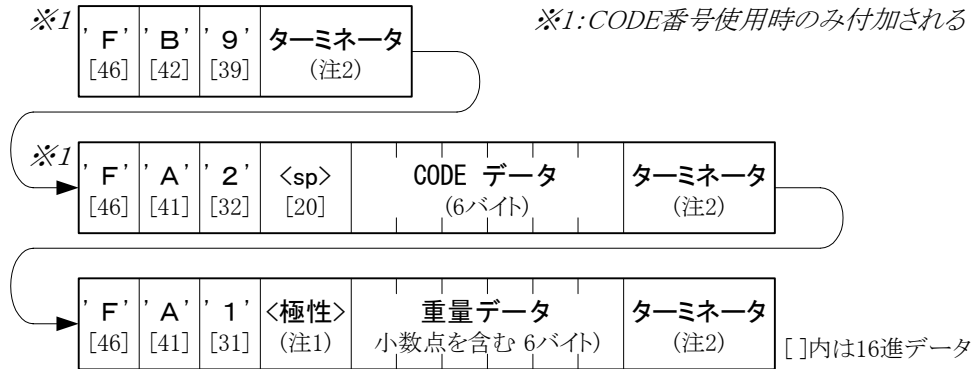
[2.05] 又は [2.25] 重量値フォーマット : **【1】** A対応

[2.06] 又は [2.26] ターミネータ : **【0】** <cr> <lf>

2章 重量値転送フォーマット

3. U対応フォーマット

ユニパルス社製のプリンタ M250 等を接続し自動印字をする場合に選択します。




注1: 正の場合 '+' [2B] , 負の場合 '-' [2D]

注2: ファンクションにより設定

注3: 重量 及び CODEデータは、ASCIIコード

注意 1. 重量異常時には、重量データはすべて空白[20h]になります。

 ・ファンクションを以下のように設定して下さい。

[2.01] 又は [2.21]	伝送速度	:	[2] 1200bps 又は [3] 2400bps (プリンタ側の設定と同じにして下さい)
[2.02] 又は [2.22]	データ長	:	[1] 7bit
[2.03] 又は [2.23]	ストップビット	:	[0] 1bit
[2.04] 又は [2.24]	パリティ	:	[1] あり、 [1] 奇数
[2.05] 又は [2.25]	重量値フォーマット	:	[2] U対応
[2.06] 又は [2.26]	ターミネータ	:	[0] <cr> <lf>


2章 重量値転送フォーマット

4. GTNフォーマット (AD-8118A)

プリンタ AD-8118A で、総重、風袋、正味重量値を印刷する場合に選択して下さい。

印字例：

04年12月06日 10時00分AM	日時
CODE 123456	CODE (使用時のみ)
No 1	計量回数 (使用時のみ)
GROSS 87.3 kg	総重量値
TARE 33.5 kg	風袋重量値
NET 53.8 kg	正味重量値

 ・ファンクションを以下のように設定して下さい。


[2.01] 又は [2.21]	伝送速度	：	[1] 600bps 又は [2] 1200bps (プリンタ側の設定と同じにして下さい)
[2.02] 又は [2.22]	データ長	：	[0] 8bit
[2.03] 又は [2.23]	ストップビット	：	[0] 1bit
[2.04] 又は [2.24]	パリティ	：	[0] なし
[2.05] 又は [2.25]	重量値フォーマット	：	[3] GTN (AD8118A)
[2.06] 又は [2.26]	ターミネータ	：	[0] <cr> <lf>

5. GTNフォーマット (汎用プリンタ)

汎用プリンタで、総重、風袋、正味重量値を印刷する場合に選択して下さい。


印字例：

DATE 05/12/06 10:00:00	日時 (使用時のみ)
CODE 123456	CODE (使用時のみ)
No 1	計量回数 (使用時のみ)
GROSS 87.3 kg	総重量値
TARE 33.5 kg	風袋重量値
NET 53.8 kg	正味重量値

 ・ファンクションを以下のように設定して下さい。

[2.05] 又は [2.25] 重量値フォーマット ； **[4]** GTN (汎用)

・その他のファンクションは接続する機器にあわせて設定して下さい。

 ・GTNフォーマットでは、ファンクション [2.34] の設定により、カタカナで印字できます。但し、データ長は 8bit に設定して下さい。

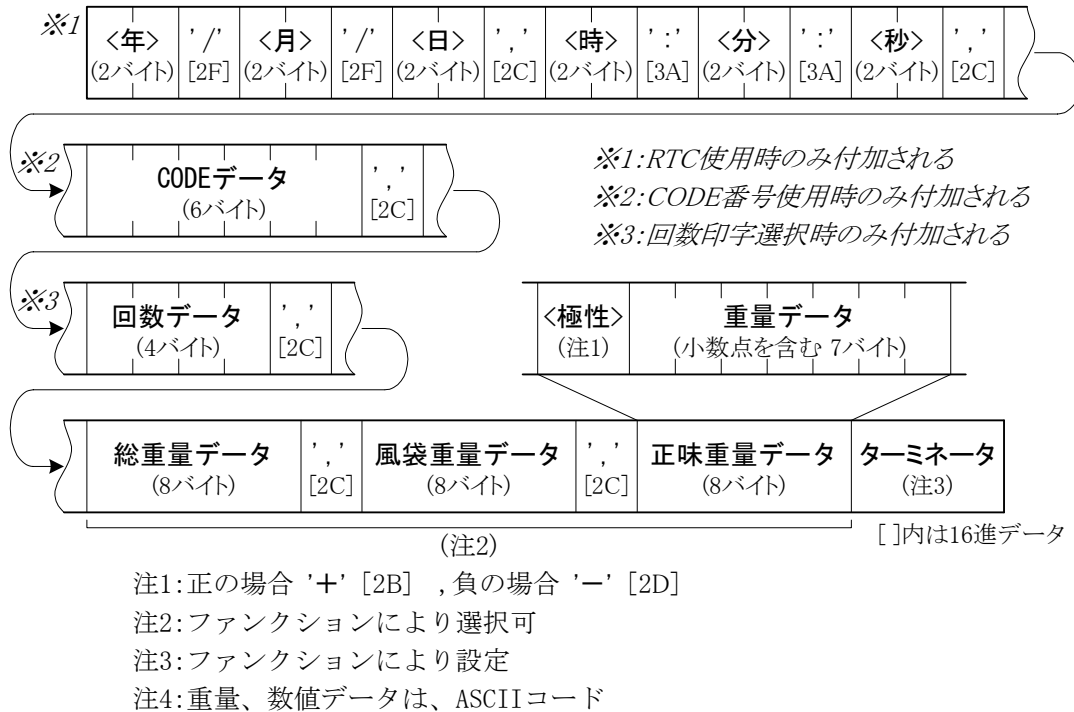
印字例：

DATE 05/12/06 10:00:00	
CODE 123456	
No 1	
ソウジウ	87.3 kg
フウタ	33.5 kg
ジヨウ	53.8 kg

2章 重量値転送フォーマット

6. CSVフォーマット

データを CSV 形式で出力する場合に選択して下さい。



注意 1. 重量異常時には、重量データはすべて '-' (マイナス) [2Dh] になります。


- ☞ ファンクションを以下のように設定して下さい。
- [2.05] 又は [2.25] 重量値フォーマット : **【5】** CSV
- ・その他のファンクションは接続する機器にあわせて設定して下さい。
 - ・出力する重量値はファンクション [2.19] 又は [2.29] で以下から選択できます。
 - 【0】** 総重量、風袋重量、正味重量 をすべて
 - 【1】** 正味重量のみ
 - 【2】** 総重量値のみ

7. CAS対応フォーマット


データを CAS 社製外部表示器に出力する場合に選択して下さい。

- ☞ ファンクションを以下のように設定して下さい。
- [2.01] 又は [2.21] 伝送速度 : **【4】** 4800bps 又は **【5】** 9600bps
 (機器側の設定と同じにして下さい)
- [2.02] 又は [2.22] データ長 : **【0】** 8bit
- [2.03] 又は [2.23] ストップビット : **【0】** 1bit
- [2.04] 又は [2.24] パリティ : **【0】** なし
- [2.05] 又は [2.25] 重量値フォーマット : **【6】** CAS 対応
- [2.06] 又は [2.26] ターミネータ : **【0】** <cr> <lf>
- [2.08] 又は [2.28] 転送タイミング : **【0】** 常時連続


3章 信号線の接続



据付工事、配管、配線 及び 点検・修理は、「工場電気設備防爆指針（独立行政法人 産業安全研究所）」及び関連法規に従って実施して下さい。



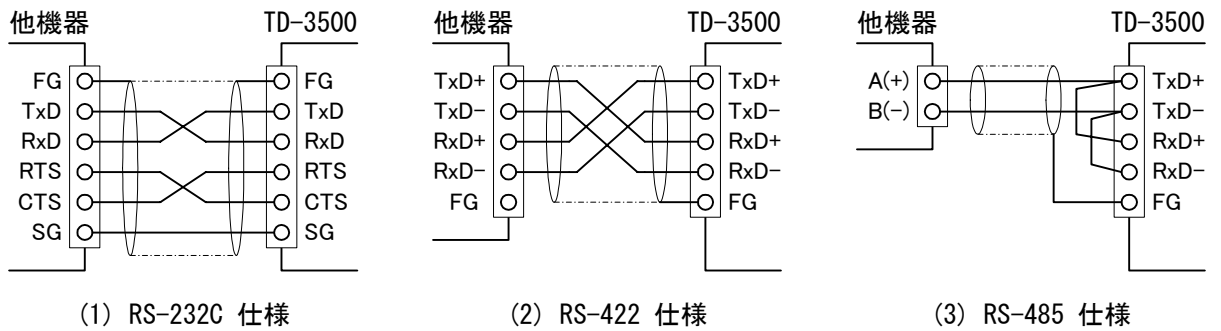
ケーブルは、必ず配線引込金具から耐圧防爆容器内へ引き込んで下さい。



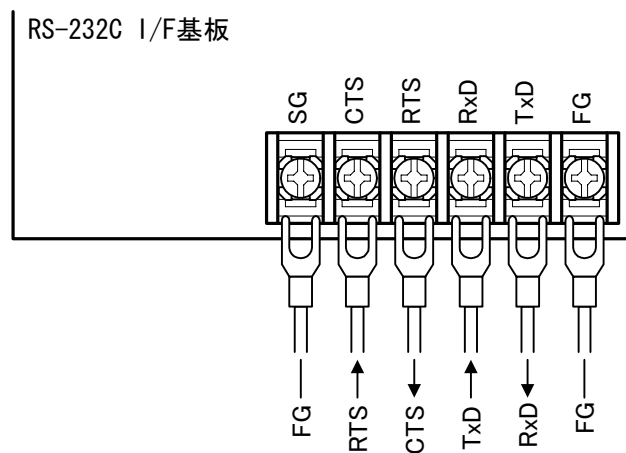
・接続の際には、必ず電源スイッチがOFFになっていることを確認して下さい。

注意 1. 端子台へは、圧着式のY型端子又は丸型端子を使用し、確実に接続して下さい。

1. 信号線の接続



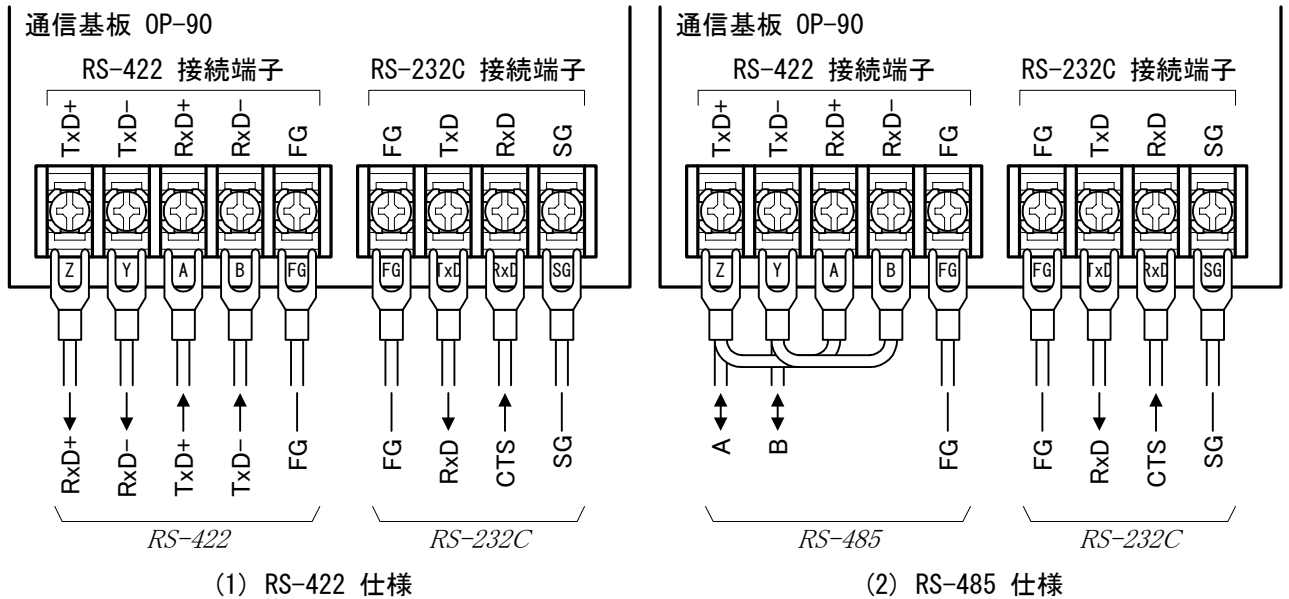
2. OP-08 端子台 (RS-232C)



端子台結線図

3章 信号線の接続

3. OP-90 端子台 (RS-422/485 + RS-232C)

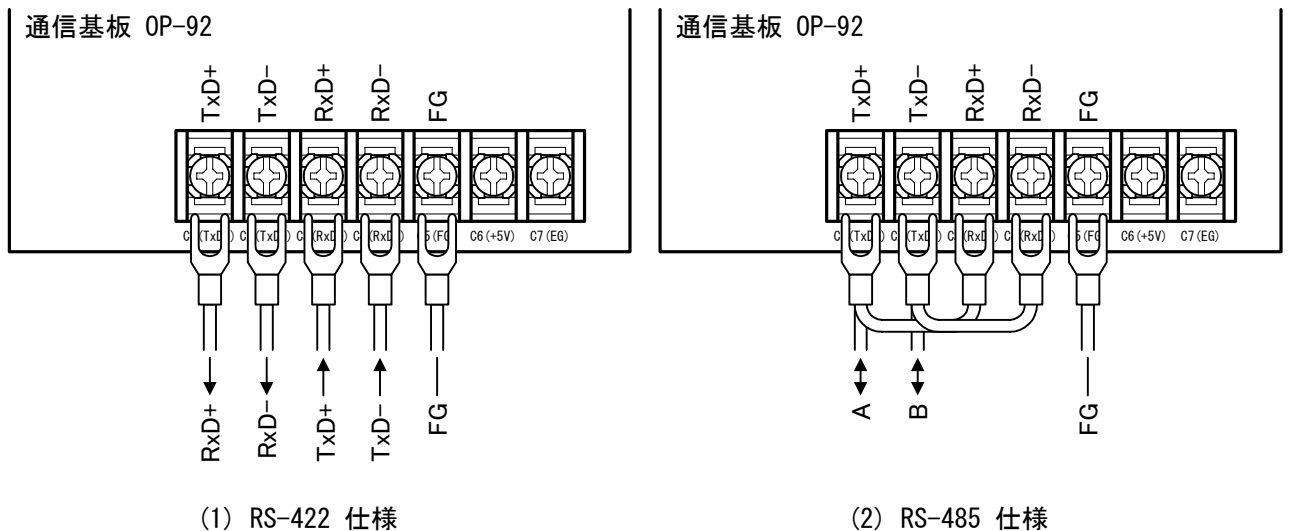


端子台結線図

注意

1. RS-232CはCh-2を使用し、出力のみとなります。
2. 「アナログ出力」が「使用可」になっていると、Ch-2は使用できません。

4. OP-92 端子台 (RTC + RS-422/485)



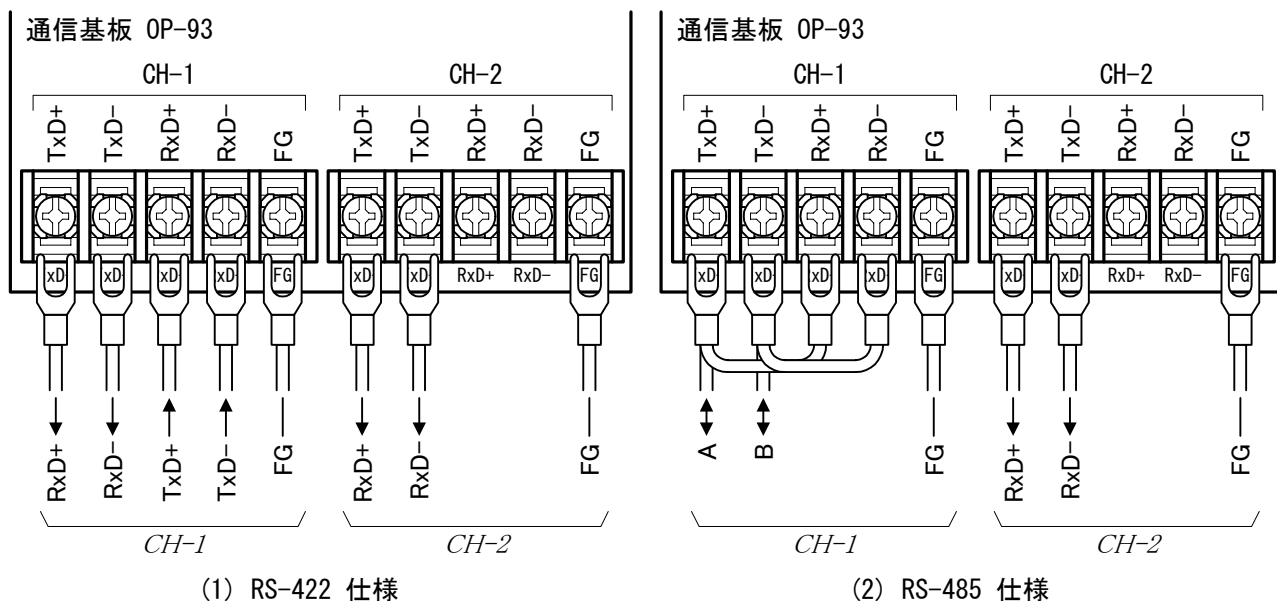
端子台結線図

注意

1. C6(+5V)、C7(EG)には何も接続しないで下さい。

3章 信号線の接続

5. OP-93 端子台 (RS-422/485 + RS422)




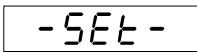

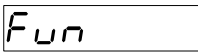

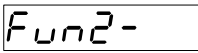
端子台結線図

注意

1. Ch-2 は RS-422 仕様で、出力のみとなります。
2. 「アナログ出力」が「使用可」になっていると、Ch-2 は使用できません。

4章 ファンクションの設定

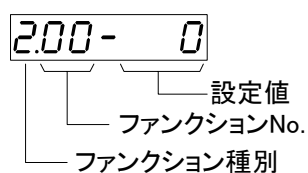
1. ファンクション(通信関係定数)設定モードへの移行

- ① 通常の重量表示で、キーを押して下さい。  が表示されます。
- ② キーを押して下さい。  が表示されます。
- ③ キーを押して下さい。  が表示されます。



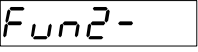
2. 設定方法

- ① テンキーでファンクション No. を入力して下さい。現在の設定値が表示されます。

例 : [00] を入力した場合

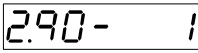



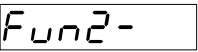


注意 1. ファンクションによっては、記号を表示する場合があります。

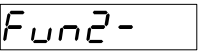

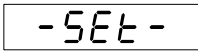

- ② 設定を変更する場合は、テンキーで数値を入力し キーを押して下さい。
設定を変更しない場合は キーを押して下さい。
- ③  表示に戻ります。

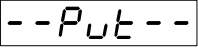
3. 設定値の保護


ファンクションの設定を誤って変更しないよう、設定を禁止する事ができます。

- ① テンキーで、ファンクション [90] を選択して下さい。現在の設定値が表示されます。
例 :  設定値 : 【0】変更不可、【1】変更可
- ② キー (変更禁止) 又は キー (変更可) を押して、キーを押して下さい。
- ③  表示に戻ります。

4. ファンクション設定モードの終了

- ①  表示で、キーを押して下さい。  が表示されます。
- ② 設定を記憶する場合は、キーを押して下さい。通常の重量表示に戻ります。

設定を変更した場合は、を表示し、設定を記憶した後に、通常の重量表示に戻ります。

設定変更を中止する場合は、キーを押して下さい。すべての設定値を変更前に戻して、通常の重量表示に戻ります。

4章 ファンクションの設定

5. ファンクション(通信関係定数)一覧表

注意 1. この一覧表以外のファンクションは変更しないで下さい。誤って呼び出した場合は **C** キーを押して下さい。

[2. xx] 通信関係定数				
No	名称	概要	設定範囲	初期値
00	Ch-1 の使用	Ch-1 使用の可/不可	0:不可、1:可	0
01	Ch-1 転送レート	ポーレートの設定	0:300 1:600 2:1200 3:2400 4:4800 5:9600 6:19200	5
02	Ch-1 データ長	データ長の設定	0:8bit、1:7bit	0
03	Ch-1 ストップビット	ストップビットの設定	0:1bit、1:2bit	1
04	Ch-1 パリティ	パリティの ON/OFF を設定	0:Off、1:On	1
		パリティの極性を設定する	0:偶数(EVEN) 1:奇数(ODO)	0
05	Ch-1 重量値フォーマット	注) GTN:総重・風袋・正味	0:標準 1:A 対応 2:U 対応 3:GTN (AD8118A) 4:GTN (汎用) 5:CSV 6:CAS 対応	0
06	Ch-1 ターミネータ	ターミネータの選択	0:<cr><lf>、1:<cr>	0
07	Ch-1 転送モード	通信方法 ※1	0:単方向、1:双方向	1
08	Ch-1 転送タイミング	単方向モードで重量値を転送するタイミング	0:常時 連続 1:安定時 連続 2:安定時 1回 3:制御完了時 1回 4:印字指令 1回 5:制御完了/印字指令併用	0
09	Ch-1 CTS 監視	RS-232C での CTS 監視	0:しない、1:する	0
10	Ch-1 伝送路	伝送路の規格	0:RS-232C 1:RS-422/485	0
11	Ch-1 ID 番号の使用	RS-422/485 で ID の使用	0:しない、1:する	0
12	Ch-1 ID 番号の設定	ID 番号	0~20	0
13	Ch-1 回線 OPEN 前 delay	設定単位:秒	0.00~1.27	0.03
14	Ch-1 データ送信前 delay	設定単位:秒	0.00~1.27	0.02
15	Ch-1 回線 CLOSE 前 delay	設定単位:秒	0.00~1.27	0.02

4章 ファンクションの設定

[2. xx] 通信関係定数 (続き)				
No	名称	概要	設定範囲	初期値
19	Ch-1 重量値の選択	出力する重量値の選択	0:表示値 1:正味重量値 2:総重量値	0
20	Ch-2 の使用	Ch-2 使用の可/不可	0:不可、1:可	0
21	Ch-2 転送レート	ポーレートの設定	0:300 1:600 2:1200 3:2400 4:4800 5:9600 6:19200	5
22	Ch-2 データ長	データ長の設定	0:8bit、1:7bit	0
23	Ch-2 ストップビット	ストップビットの設定	0:1bit、1:2bit	1
24	Ch-2 パリティ	パリティの ON/OFF を設定	0:Off、1:On	1
		パリティの極性を設定する	0:偶数(EVEN) 1:奇数(ODD)	0
25	Ch-2 重量値フォーマット	注) GTN:総重・風袋・正味	0:標準 1:A 対応 2:U 対応 3:GTN (AD8118A) 4:GTN (汎用) 5:CSV 6:CAS 対応	0
26	Ch-2 ターミネータ	ターミネータの選択	0:<cr><lf>、1:<cr>	0
28	Ch-2 転送タイミング	重量値を転送するタイミング	0:常時 連続 1:安定時 連続 2:安定時 1回 3:制御完了時 1回 4:印字指令 1回 5:制御完了/印字指令併用	0
29	Ch-2 重量値の選択	出力する重量値の選択	0:表示値 1:正味重量値 2:総重量値	0

4章 ファンクションの設定

[2. xx] 通信関係定数 (続き)				
No	名称	概要	設定範囲	初期値
30	印字指令による出力先	印字データの出力先	0:出力しない 1:Ch-1 へ出力 2:Ch-2 へ出力	0
31	計量中出力の使用	接点に印刷中を出力するか	0:しない、1:する	0
32	ゼロでの印字	安定時1回出力でゼロの時に印字する	0:しない、1:する	0
34	GTN 仕様でのコメントの言語	GTN 仕様時に出力するコメントの言語	0:英字、1:カタカナ	0
35	GTN 仕様での改行数	GTN 仕様時、重量印字後の改行数	1~10	5
36	GTN 仕様での回数の印字	GTN 仕様時、回数を印字するかどうか	0:しない、1:する	0
37	CODE 番号の使用	CODE 番号を使用するか	0:しない、1:する	0
38	CODE 番号送信のタイミング	U 仕様時の CODE 番号出力方法	0:印字毎 1:CODE 変更時に1回	0
40	RTC の使用		0:しない、1:する	0
41	RTC 設定	—	—	—
60	SIF 仕様	SIF を使用する場合に選択	※2	—
61	MD の点灯条件	MD 点灯の条件を選択	※2	—
70	Ch-1 宝外部表示器仕様	Ch-1 に宝製外部表示器を接続する 場合に接続	※2	—
71	Ch-2 宝外部表示器仕様	Ch-2 に宝製外部表示器を接続する 場合に接続	※2	—
80	内部データの印字	内部データを印字/送信します	—	—
90	設定値の保護	設定値変更の可/不可	0:不可、1:可	1

注 意

1. 「アナログ出力」が「使用可」になっていると、Ch-2 は使用できません。
2. RTC は、OP-92 (RTC+RS-422/485 I/F) を接続しなければ使用できません。

※1 双方向の場合、コマンドにより重量値を転送します。
コマンドは別紙「通信コマンド・リファレンス」を参照して下さい。

※2 詳細は弊社までお問い合わせ下さい。

4章 ファンクションの設定

6. 内部データの印字

重量値フォーマットが、標準又は総重・正味時で、転送タイミングを「印字指令1回」に設定した場合、ファンクション設定値等を印字させることができます。


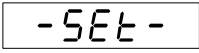

- ① Func- 表示のとき、ファンクション [80] を選択して下さい。F-Pout が表示されます。
- ② 下表により、印字したい項目のキーを押して下さい。設定値を印字後、F-Pout 表示に戻ります。
- ③ 終了する場合は、C キーを押して下さい。Func- 表示に戻ります。



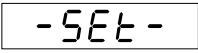

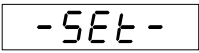

項目	内 容	操作するキー
Func-0	常用定数関係ファンクション設定値	0
Func-1	入出力関係定数ファンクション設定値	1
Func-2	通信関係定数ファンクション設定値	2
Func-3	制御関係定数ファンクション設定値	3
	制御定数 (重量値、時間) 設定値	4
	内部基礎定数	9


5章 拡張機能

1. CODE 番号

注意 1. ファンクション[2.37] が【1】(使用可)になっていないと、CODE 番号は使用できません。

- ① 通常の重量表示状態で、キーを押して下さい。 が表示されます。
(押し続けると表示を OFF してしまいますから注意して下さい。)
- ② キーを押して下さい。現在の設定値が表示されます。

例: 
- ③ 変更する場合は、数値をテンキーで入力して キーを押して下さい。 が表示されます。
変更しない場合は、キーを押して下さい。 が表示されます。
- ④ キーを押して下さい。通常の重量表示に戻ります。


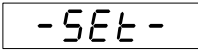


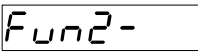


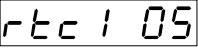

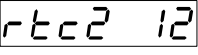



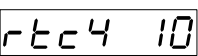

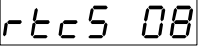

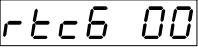

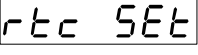

 ・U対応フォーマットの場合、ファンクション[2.38] の設定により、CODE 番号を、変更時にプリンタに出力させることができます。



2. 回数印字について

1. ファンクション[2.36] の設定により、計量 (印字) 回数を印字できます。
2. 回数は、1～9999回まで印字します。9999回を超えると、リセットされます。
3. CODE 番号を使用している場合、番号変更時にリセットされます。

3. RTCの設定

注意 1. OP-92 を使用し、ファンクション[2.40] が【1】(使用可) になっていないと、RTC は使用できません。

- ① 通常の重量表示状態で、 キーを押して下さい。  が表示されます。
(押し続けると表示を OFF してしまいますから注意して下さい。)
- ② 、 とキーを押して下さい。  が表示されます。
- ③ 、 とキーを押して下さい。(ファンクション[2.41] を呼び出します。)
- ④  (年) が表示されます。
テンキーで、西暦の下二桁の数値を入力して  キーを押して下さい。
- ⑤  (月) が表示されます。
テンキーで、月の数値を入力して  キーを押して下さい。
- ⑥  (日) が表示されます。
テンキーで、日の数値を入力して  キーを押して下さい。
- ⑦  (時) が表示されます。
テンキーで、時を 24 時間単位の数値で入力して  キーを押して下さい。
- ⑧  (分) が表示されます。
テンキーで、分の数値を入力して  キーを押して下さい。
- ⑨  (秒) が表示されます。
テンキーで、秒の数値を入力して  キーを押して下さい。
- ⑩  が表示されます。
 キーを押して下さい。設定値を RTC にセットして、通常の重量表示に戻ります。

 ・どの項目でも、 キーを押すと、設定を中止して通常の重量表示に戻ります。